



地震発生時の初動マニュアル

地震発生【数秒前】

① まず、身を守る

机の下などへ頭を守って小さく身をかがめる

② すばやく火の始末

ガスの元栓、コンセント、機械器具

③ 非常脱出口の確保

ドア・窓を開ける

④ 落下・転倒・倒壊の危険物から離れる

頭上や周囲に注意する

⑤ エレベーター・エスカレーターに乗らない

階段で避難する

※最大震度5弱以上で、本学での揺れが震度4以上と予測された場合、「緊急地震速報」により大きな揺れが来る数秒前に全館一斉に緊急放送する。(ただし、震源が近い場合等は間に合わないことがある。)

地震発生後【1～2分】

① 火元を確認

火が出たら、落ち着いて初期消火

② 同室員の安全を確認

倒れた書庫等什器の下敷きになっていないかを確認
けが人の確認および救護（保健センターと連携する）

③ 作動中の機械器具等の停止

実験器具・事務機器・厨房機器・設備機器等

地震発生後【3分】

① 隣接する部屋で助け合う

他の部屋・教室等で書庫等什器の下敷きになっていないか確認

② 余震に注意

建物の状況により、余震で崩壊する恐れのある場合は、指定の避難場所に避難



地震発生

地震発生時の初動マニュアルで行動

現在の居場所は？

学内

学外

教員等から避難指示
あり or なし

震度 5 以上 or 未満
倒壊・負傷等 あり or なし

あり

なし

以上/あり

未満/なし

通常授業
に戻る

通常の
生活

※必要に応じ直ちに避難開始

避難場所へ避難

自分の安否と避難先を連絡

(友人・知人の情報もわかれば併せて連絡)

帰宅ができる or できない

両方へ連絡

学生課

(大学院生は大学院教務事務室へ)

指導教員

【帰宅ができない場合】

指導教員等の指示に従い
学内の避難場所で待機

避難先にて待機 (自宅学習)

(避難先の変更、友人・知人の安否等、
新たな情報が入った時は改めて報告する)

【帰宅ができる場合】

学生課 (大学院教務事務室) に帰宅 (避難) 先を報告の上、**帰宅する**。
もし、報告先と違う所へ帰宅 (避難) した場合は、その帰宅 (避難) 先を改めて報告する。